

5) 公衆栄養

公衆栄養（項目番号：P21-101、P21-201）

科目名	生活習慣病の発症予防と重症化予防	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 がん、循環器疾患、糖尿病及び COPD（慢性閉塞性肺疾患）対処するため、一次予防に重点を置いた対策を推進するとともに、合併症の発症予防や症状の進展等の重症化予防に重点をおいた対策が立案できる能力を身につけることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わが国におけるリスク要因別の生活習慣病死亡者の現状 ・ 健康日本 21（第二次）に示された、栄養・食生活目標設定の考え方 ・ 栄養・食生活の目標と生活習慣病予防との関連 ・ 保健と医療のつながりによる取組など政策立案プロセスの事例について <p>【演習】 事例検討により、参加者が意思決定の擬似的な体験をすることで、課題解決のための現状分析や意志決定能力を身に着ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 個人でケースを熟読 ケースの論点は何かを考え、その論点にそって情報を収集・分析、問題点を整理し、その解決策を考える。 2) 小グループ（5~10人）によるディスカッション 異なる判断基準や価値観を有する仲間の考え方にふれ、自分の意見を修正し、洗練させていく。 参加者の中からディスカッション・リーダーが出て進行する。 3) 全体討議（講師と参加者、参加者同士の討論） ④講師は、参加者の意見を引き出し、論点を整理、複数の解決策を促すこととし、1つの結論に導くことはしない。 <p>【参考図書】 日本人の食事摂取基準 健康日本 21（第二次） 栄養ケアプロセス用語マニュアル</p>			

公衆栄養（項目番号：P21-104）

科目名	地域診断の進め方	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 地域住民の食生活及び健康や生活習慣の実態をモニタリングする方法を学び、栄養・健康増進政策にいかすことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①集団の健康評価の必要性を理解し、さまざまな栄養・健康増進政策による介入の効果を予測し、政策の選択、政策の実施、政策の評価ができる。 ②政策の効果的・効率的な実施のために、地域の現状やニーズに合った計画策定と、実施後の評価及びそれに基づく計画・実施の修正ができる。 ③特定検診のデータ、医療情報（レセプトデータ）と地域で実施した健康・栄養調査等の特徴を理解し、総合的な解釈を行うことができる。 <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養・健康増進施策における評価の基本的な考え方について ・ データ活用の視点に立った調査の設計と実施について ・ 調査データの蓄積と活用について ・ データ解析と施策評価への活用について ・ 市町村と連携した調査の実施とデータ活用 <p>【参考図書】 健康増進施策推進・評価のための健康・栄養調査データ活用マニュアル 2011</p>			

公衆栄養（項目番号：P21-105～108）

科目名	スポーツ栄養	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 公認スポーツ栄養士の役割と活用を理解するとともにスポーツ栄養学について理解を深め、活用する。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P21-109、P21-209）

科目名	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上のための施策形成	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①子供の健やかな発育と生活習慣、自殺者の減少、重い抑鬱や不安の低減と職場の支援環境、高齢者の社会参加と社会貢献活動などについて先進的な取組から政策形成プロセスを理解し、個々の地域にあわせた取り組みができる。</p> <p>②ライフステージに対応した取組などグループワークにより検討し、問題解決に関わる判断能力や意思決定能力の作成ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の健やかな発育と生活習慣について ・ 自殺者の減少、重い抑鬱や不安の低減と職場の支援環境について ・ 高齢者の社会参加と社会貢献活動について ・ ライフステージに対応した取組など事例を通じた政策立案プロセスについて <p>【演習】</p> <p>事例検討により、参加者が意思決定の擬似的な体験をすることで、課題解決のための現状分析や意志決定能力を身に着ける。</p> <p>1) 個人でケースを熟読 ケースの論点は何かを考え、その論点にそって情報を収集・分析、問題点を整理し、その解決策を考える。</p> <p>2) 小グループ（5～10人）によるディスカッション 異なる判断基準や価値観を有する仲間の考え方にふれ、自分の意見を修正し、洗練させていく。参加者の中からディスカッション・リーダーが出て進行する。</p> <p>3) 全体討議（講師と参加者、参加者同士の討論） Ⓞ講師は、参加者の意見を引き出し、論点を整理、複数の解決策を促すこととし、1つの結論に導くことはしない。</p> <p>【参考図書】 日本人の食事摂取基準 健康日本21（第二次）</p>			

公衆栄養（項目番号：P21-110,210）

科目名	健康を支え、守るための社会環境の整備	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 健康を支え、守るための社会環境の整備に向け、ソーシャルキャピタルの向上、多様な活動主体による自発的取組の推進、健康格差の縮小などに重点をおいた対策が立案できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルキャピタルの向上の取組について ・ 多様な活動主体による自発的取組の推進について ・ 健康格差の現状とその縮小に向けた取組について ・ 地域住民との連携による政策立案プロセスなどの事例を通じた学習 			

【演習】

事例検討により、参加者が意思決定の擬似的な体験をすることで、課題解決のための現状分析や意志決定能力を身に着ける。

1) 個人でケースを熟読

ケースの論点は何かを考え、その論点にそって情報を収集・分析、問題点を整理し、その解決策を考える。

2) 小グループ（5~10人）によるディスカッション

異なる判断基準や価値観を有する仲間の考え方にふれ、自分の意見を修正し、洗練させていく。参加者の中からディスカッション・リーダーが出て進行する。

3) 全体討議（講師と参加者、参加者同士の討論）

④講師は、参加者の意見を引き出し、論点を整理、複数の解決策を促すこととし、1つの結論に導くことはしない。

【参考図書】

日本人の食事摂取基準
健康日本21（第二次）

公衆栄養（項目番号：P23-101~111）

科目名	病態栄養	単位数	講義 5 単位
【目標】 疾患と病態栄養、栄養・食事療法について理解し、効果的な栄養の指導を行うことができる。			
【講義内容】 臨床栄養（R23）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P23-112）

科目名	食物アレルギー	単位数	講義 1 単位
【目標】 乳幼児健診及び特定給食施設指導において、食物アレルギーのガイドラインを基にした助言・指導ができる。			
【講義内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食物アレルギーの最新情報 ・ 食物アレルギー関連ガイドラインの理解 ・ 代替食の考え方 ・ 摂食・誤食防止への対応 			
【参考図書】			
食物アレルギー診療の手引き 食物アレルギーの栄養指導の手引 2011			

公衆栄養（項目番号：P23-113、 P23-213）

科目名	授乳・離乳の支援ガイド	単位数	講義 1 単位
【目標】 「授乳・離乳の支援ガイド」を理解し、成長・発達・生活に応じた、適切な「栄養の指導」ができる。母子手帳を活用し、家庭と一体となった離乳支援が実践でき、保護者の相談に応じることのできる。			
【講義内容】【演習】 福祉栄養（FG23）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P23-114）

科目名	小児の栄養（子どもの発育・発達）	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 子どもの発育・発達、年齢（月齢）における特徴、精神的発達の特徴を理解し、一人ひとりの発育・発達を踏まえた「栄養の指導」をすることができる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FG23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P23-115）

科目名	小児の栄養（子どもの病態栄養）	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 小児の疾患と病態栄養、栄養療法について理解し、効果的な「栄養の指導」を実践することができる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FG23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P23-116）

科目名	成人期の栄養	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 成人期の身体メカニズムを理解し、生活習慣病の重症化防止に日々の食事が大きく影響していることを説明できる。</p> <p>【講義内容】 給食管理（K23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P23-117、P23-217）

科目名	高齢者の栄養政策	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 高齢者の食について理解し、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。住民が社会生活を営むために必要な機能を維持・向上できるよう支援することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の食を取り巻く現状と課題（脳卒中、生活習慣病の重症化等） ・ 代謝等の身体のメカニズム ・ 後期高齢者健診データ、レシピデータ分析 ・ 健診データからの栄養状態の把握 ・ からだに合った食品の選択の支援 <p>【演習】 事例検討 ライフスタイルに考慮した栄養指導</p>			

公衆栄養（項目番号：P 23-118、P 23-218）

科目名	摂食・嚥下機能	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 摂食・嚥下機能の未発達と変化、原因疾患による機能の特徴、口腔内ケアの必要性、摂食・嚥下障害者への食事支援方法について理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 【演習】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 23-119）

科目名	認知症	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 認知症の病態と特徴を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 23-120）

科目名	褥瘡	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 褥瘡の発生要因と病態を理解し、褥瘡の予防、治療に向けた環境、栄養管理を理解する。褥瘡の予防、治療ガイドラインに基づき、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 23-121）

科目名	COPD とサルコペニア	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 COPD とサルコペニアの発生要因と病態、治療に向けた環境、栄養管理を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 25-101）

科目名	栄養教育のための栄養生理	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 栄養素の代謝に基づいて、食育のための指導資料の作成や児童生徒一人ひとりに応じた栄養指導ができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G25）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P30-101）

科目名	療養食	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 療養食の種類と特徴、療養食加算申請と療養食提供の手順を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養 FS30 に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P30-103）

科目名	特定給食施設における栄養管理	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 特定給食施設利用者の栄養状態、身体状況の改善をはかるために、適切な栄養管理が行われるよう指導及び支援する力を身につける。</p> <p>災害時等における健康危機管理対策の一環として施設内や地域の施設間連携に向けた支援体制も視野に入れたネットワーク形成ができる。</p> <p>職能団体等と連携した専門職向け研修体制を整備することができる。</p>			

【講義内容】

- ・ 特定給食施設利用者の身体状況の把握と改善について
- ・ 特定給食施設の栄養管理の状況に関するデータ活用の視点に立った評価について
- ・ 特定給食施設における栄養管理の効果的な実施について
- ・ 特定給食施設におけるリスクマネジメントと品質管理
- ・ 災害時の地域での施設間連携

公衆栄養（項目番号：P 31-101）

科目名	フードサービス	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設におけるフードサービスのあり方を学び、提案や改善ができる。			
【講義内容】 給食管理（K31）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P 35-102）

科目名	食材料管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設の食材管理についてのノウハウを学び、実践できる。			
【講義内容】 給食管理（K35）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P37-101）

科目名	公衆衛生における衛生管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 公衆衛生における衛生管理基準と指導体制について学び、発生する食品衛生危害に対する迅速な対応を習得する。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な食材管理を行うための適切な管理基準と体制 ・ 一般衛生管理プログラムの理解 ・ HACCP 衛生管理の理解、大量調理施設衛生管理マニュアル ・ 公衆衛生管理栄養士・栄養士にゆだねられる衛生管理 			

公衆栄養（項目番号：P39-101）

科目名	マーケティング	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食市場マーケットを把握し、分析に基づいた改善や提案ができる。			
【講義内容】 給食管理（K39）に準ずる			

公衆栄養（項目番号：P 43-101）

科目名	スポーツ栄養マネジメント（アセスメント）	単位数	講義 2 単位
【目標】 アスリートや健康の維持増進のために身体活動量が多い対象者に対して必要なアセスメントについて、理解・実践できる。			
【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS43）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P 44-101）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 栄養アセスメントで得られたデータを用いて、栄養処方、栄養介入によって解決あるいは改善を図ることができる栄養問題を総合的に判断し、標準化された栄養診断用語を用いて記録することができる。身体計測等のデータの蓄積から個々の対象者の栄養状態の判断（栄養診断）ができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G44）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 45-101）

科目名	スポーツ栄養マネジメントの理解と活用	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 アスリートや身体活動量の多い対象者に対する栄養管理法としてスポーツ栄養マネジメントを理解し、活用できる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS45）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 45-105）

科目名	栄養管理計画と再評価	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 栄養管理をするにあたって、栄養管理者は対象者一人ひとりについて適切な栄養の指導をし、問題を解決しなければならない。そのために一人ひとりの情報をきちんと把握し、計画立案、判断、実施を繰り返し問題を解決していくために栄養管理計画書を作成し、それにそって栄養管理を行うことができる。さらに院内での栄養管理体制の見直しと、他職種との連携がスムーズに行えるための環境整備について学び実施することができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R45）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 45-106）

科目名	栄養管理計画	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 栄養ケアプロセスに従って、児童生徒の喫食量や生活習慣に配慮した指導方法を理解し、食育に活用できる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G45）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P45-107、P45-207）

科目名	栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 ①栄養素の代謝についての知識を元に、経腸、経静脈、経口での栄養管理法を理解し、適切に選択、提案することができる。 ②合併症の対応法を学び、病態別、対象者別の栄養補給について、それぞれに対応した最善の栄養補給法が提案できる。 ③病態別、対象者別の栄養補給の効果と改善点について提案することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R45）に準ずる</p>			

公衆栄養（項目番号：P 45-108、P 45-208）

科目名	非経口栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 胃瘻、経腸、経静脈等の栄養補給法を理解した上で、病態、対象者の生活に応じた栄養補給法について提案でき、多職種と連携し、病態、症状、生活に応じた栄養の指導ができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS45）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-101）

科目名	対象理解	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 初等・中等諸学校での対象者を理解し、児童生徒の発達に応じた食育の推進を図ることができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G25）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-104）

科目名	栄養ケアプランの作成	単位数	講義 3 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 介護保険施設や障害者（児）施設の利用者、および在宅の要支援・要介護高齢者や障害者（児）に必要とされる栄養ケアプランを理解できる。施設ケアプランと一体的に提供できる栄養ケアプランを理解し、利用者の状況に応じた適切な栄養ケアプランを作成、実践、評価することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P46-105、P46-205）

科目名	食事指導技術	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 地域で生活する高齢者・障がい者のニーズに応じた実用的な栄養の指導ができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準ずる</p>			

公衆栄養（項目番号：P46-107、P46-207）

科目名	次世代の栄養政策 1 妊産婦の食	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 妊産婦の食について理解して、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。胎児期は、子どもの成長発達の基礎的な部分を形成する重要な時期である。胎児の育ちや母体の変化について学び、母や父が安心して出産を迎えられるように支援する力を身につける。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦の食を取り巻く現状と課題（低体重出生児含む） ・ 代謝等の身体メカニズム （胎児を育てるための母体の変化、妊娠中のリスク、胎児の発育） ・ 妊婦健診データからの栄養状態の把握 ・ 自分に合った食品選択の支援 			

<p>【演習】 事例検討 ライフスタイルに考慮した栄養指導</p> <p>【参考図書】 妊娠高血圧症候群管理ガイドライン 腎疾患患者の妊娠 日本腎臓学会編</p>

公衆栄養（項目番号：P46-108、P46-208）

科目名	次世代の栄養政策2 乳幼児の食	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 乳幼児の食について理解して、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。乳幼児期の成長発達理解し、親としての育児力を身につけることができるよう支援できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児の食を取り巻く現状と課題「授乳・離乳の支援ガイド」等について ・ 代謝等の身体メカニズム （体格、消化吸収能力、咀嚼能力、味覚形成、食の自立行動、栄養、食のリズム） ・ 乳幼児健診データからの栄養状態の把握 ・ からだに合った食品の選択の支援 <p>【演習】 事例検討 ライフスタイルに考慮した栄養指導</p> <p>【参考図書】 授乳・離乳の支援ガイド 離乳の基本</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-111）

科目名	食育のための行動科学	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童生徒が自己効力感を高め、生涯における健康づくりに結びつけることができるよう行動科学を活用し、食育を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-112、P 46-212）

科目名	食育教育	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 事業所給食を効果的に活用した栄養教育の進め方について理解できる。</p> <p>【講義内容】【演習】 給食管理（G46）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-113、P 46-213）

科目名	対人関係スキル	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 対人関係のスキルを学ぶことにより、多職種と協働して、より良いケアプランを作成、実践できる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P47-104、P47-204）

科目名	ポピュレーション対策としての生活習慣病予防	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 成人期の食について理解して、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。健康寿命の延伸と健康格差の縮小を実現するため、生活習慣病の発症予防と重症化予防に努め、住民が主体的に健康づくりを実践できるよう支援する力を身につける。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の実態把握 ・ 代謝等の身体メカニズムと生活習慣病との関係の理解 ・ 特定健診データからの栄養状態の把握 ・ 自分に合った食品の選択の支援 ・ 各学会のガイドラインの理解 <p>【演習】事例検討 経年健診結果の読み解き ライフスタイルに考慮した栄養指導</p> <p>【参考図書】 日本人の食事摂取基準 肥満症治療ガイドライン 脂質異常症治療ガイドライン 動脈硬化症疾患予防ガイドライン 科学的根拠に基づく糖尿病治療診療ガイドライン 糖尿病治療ガイド 高血圧症ガイドライン 高尿酸血症・痛風ガイドライン CKD 診療ガイド、CKD 診療ガイドライン</p>			

公衆栄養（項目番号：P 47-105）

科目名	食育計画の評価	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童福祉施設の理念、方針、保育課程に位置づく「食育の計画」の必要性を確認し、食育の視点を含めた「食育の計画」作成に関わることができる。食事提供に関する計画の評価、改善に取り組み、全職員で評価、改善に取り組むことができる。</p> <p>【講義内容】福祉栄養（FG47）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P47-106、 P47-206）

科目名	食育の実践	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 課題の発見から検討、課題解決に向けた議論を施設全体で行い、効果的な指導の手法を学び、適切に選択できる。目的に添った指導内容を計画・立案・実践することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】福祉栄養（FG47）に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P411-101、P411-201）

科目名	クリティカルパス	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 ①クリティカルパスの必要性とその意義について、疾患別の標準的な治療計画書と栄養管理計画から効果的な運用について知識を習得する。</p>			

- ②クリニカルパスの作成：栄養管理の精度を高めるための計画を提案し、定期的な見直しを行うためのポイントを学びパスを作成する。
- ③食事提供の視点、栄養食事指導、栄養介入・評価の視点から、パスを検討し、効果的に運用することができる。
- 【講義内容】【演習】臨床栄養（R411）に準ずる。

公衆栄養（項目番号：P412-102、 P412-202）

科目名	医療連携	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>医療福祉現場は、急性期病院、療養型病院、介護施設、グループホームなど施設の機能分化が進んでいて、長期的な支援が必要となる高齢者においては、複数の医療機関での治療が必要となるケースが多くみられる。栄養管理に関する情報は、患者治療や療養において重要である。</p> <p>地域医療連携の意義と実践にあたり必要な知識とスキルを習得し、医療連携を推進することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】臨床栄養（R412）に準ずる</p>			

公衆栄養（項目番号：P412-102）

科目名	地域連携①	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>保護者・地域住民との関わりや地域の生産者との円滑な交流などを通して、食育の推進に共通理解を図り、協力を得ることができるよう、食育コーディネーターとしての役割を果たすことができる。</p> <p>【講義内容】学校栄養（G412）に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P412-103）

科目名	地域連携②	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①地域の栄養ケア・ステーションシステムの現状把握と、活動概要を知る。</p> <p>②地域の保健医療計画の理解し、地域の在宅医療・介護等の機能を知る。</p> <p>③訪問栄養食事指導の流れについて知る。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養ケア・ステーションシステムと活動概要 ・ 地域の保健医療計画の理解し、地域の在宅医療・介護等の機能について ・ 訪問栄養食事指導について 			

公衆栄養（項目番号：P412-105）

科目名	関係機関・地域との連携	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①都道府県・市町村における栄養施策、および福祉（介護、介護予防、障害等）の課題を把握できる。</p> <p>②地域関係機関と連携し、課題解決に向け、地域の高齢者、障害者に応じた栄養マネジメント、ライフステージにおける食育等を実践できる。</p> <p>③福祉施設に勤務する職員として地域貢献に取り組むことができる。</p> <p>【講義内容】【演習】福祉栄養（FS412）に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 50-101）

科目名	医療安全管理	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①食中毒事故・異物混入・誤配膳など様々な事故が起こる可能性を理解し事故防止のためのリスク把握と対策を知る。</p> <p>②事故が発生した場合の緊急時対応マニュアル等の整備に必要な知識を習得する。</p> <p>③院内感染による対象者への影響や医療従事者としての感染症予防のための業務上の注意点を知る。</p> <p>④日常業務の中でリスク管理ができ、安全に配慮して院内体制の構築を図ることができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R50）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 50-102）

科目名	感染症対策	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>感染症を理解し、給食管理施設における体制作りと役割を学び、感染対策マニュアルへの迅速な対応ができる。</p> <p>【講義内容】 給食管理（K50）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応スキルを習得する。</p> <p>②非常食に関する備えや運用について学ぶ。</p> <p>③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制の構築ができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R61）に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P61-102,202）

科目名	健康危機管理	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>地域の特性に応じたネットワークの構築や支援体制づくりの課題について検討し、問題解決に関わる判断能力や意思決定能力の向上をねらう。</p> <p>①災害、食中毒、感染症、飲料水汚染等の飲食に関する健康危機管理に対して、発生の未然防止、発生時に備えた準備、発生時における対応、被害回復の対応等について、関係機関と連携し支援体制が整備できる。</p> <p>②地域防災計画に栄養・食生活支援の具体的な内容を位置づけることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の防災計画について ・ 災害発生時のフェーズごとの課題と行政栄養士の役割について ・ 避難所における栄養・食生活支援と要援護者対策について ・ 感染症発生時の対応について ・ 飲料水汚染発生時の対応について 			

【演習】

事例検討により、参加者が意思決定の擬似的な体験をすることで、課題解決のための現状分析や意志決定能力を身につける。

1) 個人でケースを熟読

ケースの論点は何かを考え、その論点にそって情報を収集・分析、問題点を整理し、その解決策を考える。

2) 小グループ（5~10人）によるディスカッション

異なる判断基準や価値観を有する仲間の考え方にふれ、自分の意見を修正し、洗練させていく。参加者の中からディスカッション・リーダーが出て進行する。

3) 全体討議（講師と参加者、参加者同士の討論）

④講師は、参加者の意見を引き出し、論点を整理、複数の解決策を促すこととし、1つの結論に導くことはしない。

【参考図書】

地域防災計画

公衆栄養（項目番号：P72-101）

科目名	指導力の養成	単位数	講義 1 単位
【目標】 実習生へ日常業務についての実務や書類の整え方についての指導方法を計画し、適切な指導を行うことができる。また、後進に適切な指導・助言するための知識と技術を習得し、実施することができる。			
【講義内容】 臨床栄養（R72）に準ずる。			

公衆栄養（項目番号：P80-102）

科目名	関連法規	単位数	講義 2 単位
【目標】 日常業務を遂行する上での行政業務と根拠法令を理解する。			
【講義内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法規の理解 ・ 法令順守と法律の解釈 ・ 全ての職域の関連法令 			

公衆栄養（項目番号：P 90-101）

科目名	財務給食管理能力	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設における財務数値管理の能力を磨き、実践できる。			
【講義内容】 給食管理（K90）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P 90-102）

科目名	人事・労務管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設の人事や労務管理について理解を深め、交渉や改善への提案ができる。			
【講義内容】 給食管理（K90）に準じる。			